

長野オリンピック悲願の金メダルに隠された感動の実話

それは拍手も歓声もない戦い

ヒノマルソウル

～舞台裏の英雄たち～

田中圭 土屋太鳳

山田裕貴 眞栄田郷敦 小坂菜緒

(日向坂46)

落合モトキ 菅原大吉 八十田勇一 濱津隆之 古田新太

監督:飯塚 健 脚本:杉原憲明 鈴木謙一 音楽:海田庄吾

プロデュース:宇田川 幸 比佐あす 刀根信彦 共同プロデュース:水本真生 編集:アキラ斎藤 監修:ライオンプロデュース 山口雄介
演出:川島 寿 山崎雅典 撮影:本間大樹 美術:佐久間信彦 録音:堀江俊樹 編集:渡辺大樹 監製:石川慶一郎
次巻:白石静子 ヘアメイク:内藤幸恵子 ヴィズニースーパーマーケット 一画 スパリゾート・北海道 協賛:北海道庁 観光局 観光局 観光局

企画プロデュース:平野 隆

「余命1ヶ月の花嫁」 「チア☆ダン」 「8年越しの花嫁」

製作:映画「ヒノマルソウル」製作委員会 制作:プロダクション・エンターテインメント 配給:東宝 2020年映画「ヒノマルソウル」製作委員会 011000

6.19 fri.

hinomaru-soul.jp

テストジャンパー

選手でない彼らが、メダルのために命をかけて飛ぶ——。

1998年長野オリンピックスキージャンプ団体。

悲願の金メダルを狙う日本代表チーム〈通称：日の丸飛行隊〉

その中心選手、原田雅彦のジャンプを特別な想いで見つめる男がいた。元日本代表・西方仁也（田中圭）だ。前回のオリンピック団体戦で、原田の失敗により惜しくも銀メダルに終わった西方は、長野での雪辱を誓う。

しかし4年後、願いは叶わず、不本意ながら裏方であるテストジャンパーとなっていた。

そして迎えた団体戦当日、日本は1本目のジャンプでまさかの4位にとどまり、2本目に逆転の望みをかけるが、猛吹雪により競技は中断。このまま終わればメダルを逃すという絶体絶命の危機に——。

そんな中、運命を託されたのは、西方ら25名のテストジャンパーたち。

審判団の判断は、悪天候の中、全員無事にジャンプを成功させれば競技を再開するというものだった。



誰もが知る栄光の裏に、誰も知らない25人の戦いがあった。

テストジャンパーとは、競技が始まる前に、ジャンプ台の状態を確かめ、

選手が安全に飛べるようになるまで繰り返し飛ぶ、裏方たち。

長野オリンピックでは、西方仁也をはじめ、聴覚障害がある者、ケガのトラウマをかかえた者、無謀な夢を抱いた女子高校生など……25人がテストジャンパーとして集められた。

代表選手に選ばなかった屈辱、選手たちへの嫉妬、家族の反対、

そして、オリンピックへの強いあこがれ、仲間との絆……

様々な葛藤を乗り越え、彼らが挑んだ金メダルへの決死のジャンプ——

これは記録にも記憶にも残らない、舞台裏の英雄たちによる真実の物語。

6.19 fri. ROADSHOW

劇場内での映画の
撮影・録音は厳禁です
www.eigaikan.org
0120-550098